

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	運動療法学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期	後期	教室名	902教室
担 当 教 員	屋敷 健太				
実務経験と その関連資格	理学療法士として、大学病院3年、リハビリテーション病院5年、訪問看護ステーション3年の合計11年勤務。 ICUなどの超急性期～生活期のリハビリテーションを経験。通算症例数は1000症例以上。 多種多様な症例や0歳～100歳のリハビリテーションを経験。 『運動療法学』はリハビリテーションにおいて必要不可欠であるが運動には必ずリスクが伴う。リスク管理能力向上のためにICU専従医師の院内勉強会などに参加。治療に必要なバイオメカニクスや解剖学・生理学などの基礎的な知識に加えて、知識・技術を補うために整形外科教授との勉強会や理学療法士が開催する院内・院外の講習会などに参加。				
《授業科目における学習内容》					
理学療法の治療の柱である「物理療法」「日常生活動作指導」と共に位置する「運動療法」の理論を学ぶ科目である。講義を主とし、運動療法の定義、概要、目的、運動の種類、関節可動域運動、筋力増強運動、協調性運動、運動学習、運動処方、リスク管理などの原理原則を中心に学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
小テストおよび課題(30%)、学期末テスト(70%)で成績評価とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:運動療法学テキスト 改定第3版(南江堂)					
《授業外における学習方法》					
(予習)各回の授業概要を教科書で確認しておくこと。 (復習)実施後の授業内容を資料を中心に教科書を利用して復習すること。小テスト前は、より詳細に復習しておくこと。					
《履修に当たっての留意点》					
理学療法の治療の柱である「運動療法」を、自分の知識として体得できるように原理原則をきっちりと記憶して欲しい。以降に学ぶ疾患別治療学の基盤となるため、内容を理解して説明出来るようになって欲しい。また、過去の国家試験問題に適応できるよう演習時は積極的に取り組んで欲しい。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。		教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	本科目の概要、運動療法の定義、目的、一般的原则、対象、歴史			
第2回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。		教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	バイタルサイン(基準値と異常値)とリスク管理			
第3回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。		教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	運動の種類、関節の一般構造(解剖学と生理学) (第2回までの確認テスト)			
第4回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。		教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	関節可動域運動① (可能な範囲で演習と実技)			
第5回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。		教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	関節可動域運動② (可能な範囲で演習と実技)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	筋力増強運動①（可能な範囲で演習と実技） （第3-5回の確認テスト）		
第7回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	筋力増強運動②（可能な範囲で演習と実技）		
第8回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	筋力増強運動③（可能な範囲で演習と実技）		
第9回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	筋持久力運動 （第6-8回の確認テスト）		
第10回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	協調性運動、神経筋再教育		
第11回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	運動学習①(定義、分類、理論) （第9,10回の確認テスト）		
第12回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	運動学習②(リハビリテーションでの実際)		
第13回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	運動時の呼吸・循環・代謝 （第11,12回の確認テスト）		
第14回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	運動処方（運動量と運動強度、運動負荷試験）		
第15回	授業を通じての到達目標	配布資料、教科書の重要点を理解・記憶し、表出できるようになる。	教科書・配布資料 国家試験問題	予習は、実施予定の該当範囲を予め読んで受講すること。 復習は、配布資料と教科書の重要点を理解の確認と記憶に努めること。
	各コマにおける授業予定	第13,14回の確認テスト 全体の総まとめ		